



てまり



Technical Educational Mental Artistic & Refreshing Information

『 小さな学習センターのこれからを考える — 私の“卒業”に寄せて — 』

放送大学和歌山学習センター 所長 宗森 純

学生の皆さんはなんとなくお気付きだと思いますが、当学習センターで行われた1学期の面接授業で、当初の受講者がとても少ない授業がいくつかありました。これにはさすがに驚きましたが、皆様のご協力や職員の方々のご尽力のおかげで最終的には多少は持ち直すことができました。しかし、2学期にふと気になって他の学習センターの状況を調べてみたところ、他も苦戦しているようでした。「これは放送大学全体にとっても、けっして小さくない問題ではないか」— そう思わずにはいられませんでした。

なぜこんな状況になっているのでしょうか。その背景には、学習環境や学生の学び方の変化があるように思います。最近ではパソコンさえあれば、自宅で授業も試験も受けられるので、一度も学習センターに来ることなく卒業できてしまいます。これでは、わざわざ面接授業を受けに来ようという気持ちも起きにくくなるのも無理はないかもしれません。卒業式の日に「初めて和歌山学習センターにきました。」と口にする方もいらっしゃいました。

そんな中、当学習センターでは「ハイフレックス授業」の導入を決めました。これは、対面授業とオンラインの授業を同時に行う新しい形の授業です。これなら、例えば串本や東京など日帰りが難い場所からでもネットで参加でき、従来通り対面で学ぶこともできます。機器が揃い次第、試行から始めます。平成になった頃は黒板を使った授業が主流でしたので授業支援システムでは教員が動くたびにカメラを操作する必要がありました。けれども今はプロジェクターによる投影授業が一般的となり、顔を自動で追尾するカメラも安価に手に入る時代です。技術の進歩は本当にすごいですね。コロナ禍の中、当学習センターでも身近にある機材で「なんちゃってハイフレックス」学習会などを試したことがありました。教員は控え室、学生は教室で参加。それでも、スムーズに進みました。そのとき、「これは、ちゃんとやれば必ず実現できる」と確信しました。

とはいって、これは特殊な状況下での一時的な対応でしたし、センターの職員は数年ごとに異動があるため、こうしたノウハウが継承されにくいという問題もあります。できれば関西地区にICTの専門家を配置してもらえたると願っています。そして、ネットやパソコンのトラブル時の対応についても、本部が規程等として明確に定めてくれることを期待しています。学習スタイルがどんどん変わっていく今、小さなセンターだからこそ柔軟に動いて、時代に合った方法を模索していく必要があります。ハイフレックス授業は、そのための大きな一歩になると私は信じています。このたび私は放送大学和歌山学習センターを“卒業”しますが、当センターで出会った方々に心から感謝しつつ、センターのからの発展を心より願って、“卒業”的言葉とさせていただきます。

ご卒業おめでとうございます

2025年度第1学期学位記授与式が9月28日（日）和歌山学習センターで行われました。
和歌山学習センターでは教養学部14名が卒業されました。



卒業生からのメッセージ

«4度目の卒業を迎えて»

教養学部 自然と環境コース 倉橋 良明 さん

私は放送大学では認定心理士の勉強のため「心理と教育コース」から入り、その後「人間と文化コース」、「生活と福祉コース」と順に卒業し、この度無事「自然と環境コース」を卒業することとなりました。このコースで再入学するにあたって正直迷いました。というのも定年退職するまで私は航空工学・信頼性工学の世界で仕事をさせてもらっていたので、どちらかというと私の専門分野だったからです。それをあえて（今更お金を使って）学びなおす必要があるのか？という思いが強かったからです。ただ折角だから放送大学の全コースを制覇したいというコンプリートガチャ的な思いもあり、とりあえず勉強しなおしてみて面白くなかったら止めるという軽い気持ちで勉強を始めました。

ところが学習を進めるにつれて自然科学系は奥が深い。特に地学系はNHK番組ブラタモリ（実際に面接授業の何人かの講師の方はブラタモリに出演されていた）のように新たな学びが次から次へと溢れてなかなか追いつきません。もしかすると今まで一番卒業まで苦労したコースだったかもしれません。特になぜか自分では簡単だと思い込んでいた科目である気象学には本当に手を焼きました。

また今回の面接授業では毎回受講希望者が多くて抽選の競争率が高い長崎の「五島灘洋上実習」や京都の「京都周辺などの地形と自然環境」のフィールドワークを体験することができ、大満足なコースとなりました。

私は引き続き社会と産業コースに進みます。新たな学びがありますように今後とも研鑽努力をしてまいります。

《2度目の学位記授与式を迎えて》

教養学部 生活と福祉コース 栗田 千晶 さん

私が放送大学との御縁を得たのは、今から12年前で、本年秋に2度目の学位記授与式に出席する事が出来ました。

1度目は、最初は選科履修生として、1年後に心理と教育コースの全科で入学して、なんとか5年で卒業と認定心理士を取得しました。それからも3年選科で好きな科目だけをとり学んできました。娘が大学に入学したと同時に生活と福祉コースで全科に再入学しました。今から4年前の事です。ところが1学期の試験前から、体調とメンタルを崩してしまい、2学期の科目登録もせず、そして休学を。本年の4月から復学する事になり、残り後3単位を放送授業と面接授業を受けて、やっと卒業する事が出来ました。2度目の卒業は思いの他、もう少しの所でなかなか果たせなかったのですが、こうして卒業出来た事を嬉しく思っています。久しぶりに行った面接授業では長い間会っていなかつた知人とも会えて、私の興味のある事を学べて楽しい2日間を過ごせました。放送大学での学びは、面接授業で色々な方達と知り合いになれた事が私には貴重な体験となっています。是非ともこれから入学されて学ぶ方にも、その体験を楽しんで欲しいと思っています。なかなか思うように勉強が進まないで、苦しい時もあると思いますが、少しずつ出来る事をしていけば、必ず先は見えてきます。学びたい気持ちを大事に、そして何よりも楽しんで学んで下さい。

私もまた選科履修生として学びを続けます。面接授業で又お会いできたら、またよろしくお願ひ致します。気軽にお声かけて下さい。

最後に、和歌山学习センターの皆様には、お世話になっております。また今後とも何卒よろしくお願い致します。

《卒業に寄せて》

教養学部 自然と環境コース 仮屋 順平 さん

5年前に放送大学に入学しました。

入学理由は、現役真っただ中の頃に会社の友人から入学を誘われていました。でも、当時の自分にはとても仕事と大学の学習を両立させる余裕が全く無く、退職してから考える的な曖昧な返事を繰り返していました。しかし時間はとても残酷で、とうとう永年勤めた会社を卒業するに至り断る理由が見当たらなくなりました。又、嘘つき呼ばわりをされたく無かったのでとうとう放送大学の門戸を叩いたと言う、動機不純なものでした。

しかも健康年齢は残酷で、まだまだ働けるためリタイヤしても次の仕事に就かねばならず、仕事と学習を掛け持ちすることになりました。

更に、退職するのを待ち構えていたように家事見習いと言う新たで厄介な役割を命じられ、仕事、お茶碗やお風呂洗い、学習、などと現役時以上の時間配分が要求されることになってしまったのです。

勉強をしていればよかったあの頃はとても幸せだったのだと、つくづく振り返ったりもしました。

自分の場合、学習時間のつくり方がとても下手くそで、当初は試験の期日に追いかけていました。今から考えれば当たり前の事ですが、受講科目数、面接授業数や受講日程とかを、能力と生活リズムに合わせるように工夫しました。徐々に慣れたと言うのが素直なところだと思っています。

面倒くさくなった時や嫌になった時は友人の励ましとかもあり、今回無事に卒業させて頂く事になりました。

一つの目標を達成出来たことは、家族、友人、各講師や面接授業で出会った方々、和歌山学习センターの皆様に感謝しています。ありがとうございました。

単位認定試験について

(学部・大学院)

単位認定試験はWeb受験方式で実施します。(一部科目は郵送受験方式)

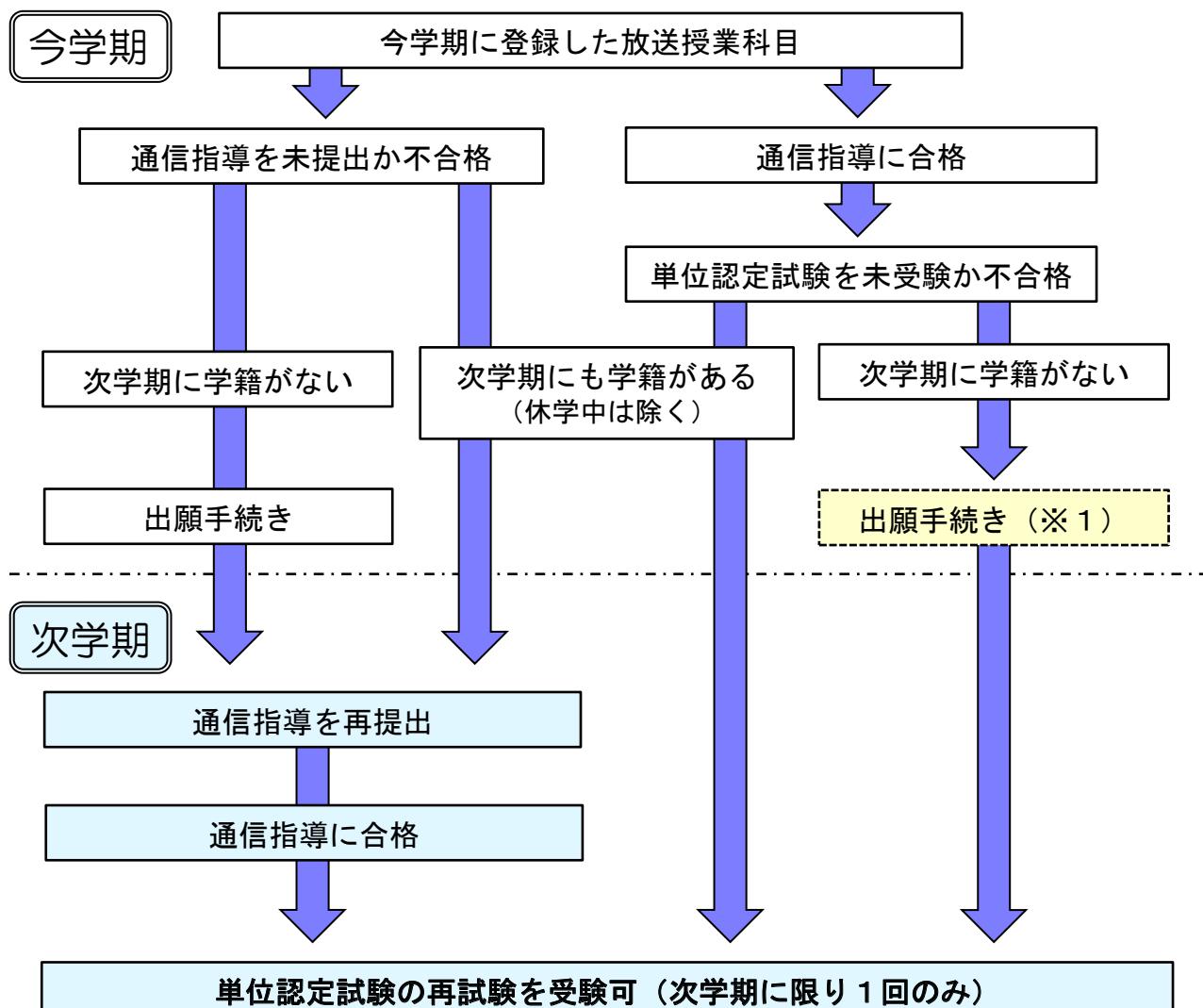
試験日程 (郵送試験は提出期間)	試験期間は出題形式によって異なります。 Web試験（択一式） 2026年1月18日（日）9時～1月26日（月）17時 Web試験（記述式・併用式） 2026年1月18日（日）9時～1月22日（木）17時 郵送試験（すべての出題形式） 2026年1月18日（日）～1月22日（木）«必着»
Web受験 実施方法概要	 ①試験期間中は自宅等から24時間いつでも受験できます。 ②1科目50分の制限時間があります。（一時停止不可、1回のみ受験可能） ③出題形式には「択一式」「記述式」「（択一式と記述式の）併用式」があり、各科目の出題形式は「授業科目案内」に掲載されています。 ④制限時間以内に「択一式」は選択肢をクリック、「記述式」は解答記入欄に文字入力することで解答します。
郵送試験を実施する科目について (4科目のみ)	 ①「正多面体と素数（'21）」「日本美術史の近代とその外部（'18）」「量子化学（'19）」「行政学講説（'24）」のみ郵送試験で実施します。 ②1月上旬ごろに大学本部から送られる問題用紙・解答用紙・提出用封筒を用いて郵送で解答を提出します。 ③試験時間の制限はありません。 提出期間内に解答を作成し、提出してください。
注意事項	 ①単位認定試験前までに「Web単位認定試験体験版」を利用し、解答提出までの一通りの操作を、実際に試験で利用する端末で必ず確認しておいてください。 ☆体験版は何度でも解答提出できますが、本番の単位認定試験は1回のみの提出となります。 ②パスワードを忘れてしまった場合など、システムWAKABAにログインできない方は、大学本部（TEL:043-276-5111）または和歌山学習センター（TEL:073-431-0360）までご連絡ください。
大学院科目について	2025年度第1学期より大学院科目的単位認定試験において、Webカメラによる本人確認を実施しています。詳細は、2025年10月に本部より送付したメールおよびシステムWAKABAの「学内連絡」にてご確認ください。
各種発送時期	 ①通信指導添削結果の返送：2025年12月末～2026年1月上旬 ☆択一式科目（併用式科目の択一部分）は1月8日（木）までに、記述式科目（併用式科目の記述部分）は1月14日（水）までに届かない場合は、大学本部（TEL:043-276-5111）に連絡してください。 ②受験票（単位認定試験通知）：2026年1月上旬 発送予定 ③郵送受験方式の科目のみ 問題用紙・解答用紙・提出用封筒 ：2026年1月上旬 発送予定 ④成績通知書：2026年2月下旬 発送予定 システムWAKABA「教務情報→履修成績照会」で確認することができます。

再試験について(登録科目の単位を修得する必要がある方へ)

「学生生活の槩」[学部]P78~79 [大学院]P83~84

今学期に新規に登録した放送授業科目の単位を修得できなかった場合、次学期に学籍がある場合（休学中を除く）に限り、再試験を受けることができます。

再試験科目については、あらためて科目登録をする必要がなく、授業料もかかりません。



※1 《単位認定試験を受験した方が再試験のために出願する場合》

☆新規登録科目なしの場合…試験結果が合格の場合、出願は無効となります。

不合格の場合、入学料のみ必要となります。

☆新規登録科目ありの場合…試験結果が合格の場合、新規登録科目のみが登録されます。

★再試験制度は1回のみです。

再試験で不合格の場合は、科目登録（または、再出願）が必要です。

（授業料が必要です。また通信指導も再度提出しなければなりません。）

科目登録申請期間・出願期間中にそれぞれ手続きを行ってください。

★単位認定試験の結果を見てからの科目登録・出願も可能です。ただし、試験結果の送付が申請期限間際となる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

2026年度第1学期 科目登録・継続入学等 のご案内

科目登録：「学生生活の菜」[学部] P61~66 [大学院] P65~71

継続入学：「学生生活の菜」[学部] P95~97 [大学院] P100

次学期に学籍がある方

「科目登録申請」手続きを行ってください。

科目登録申請には、次の方法があります。いずれかの方法で手続きを行ってください。

① 「システムWAKABA」による方法：

インターネットでの申請方法です。申請期間中に科目登録を行ってください。

② 「科目登録申請票」による方法：

大学本部から送付される「科目登録申請要項」に添付されています。

必要事項を記入し、申請期間中に大学本部に郵送してください。

★①と②の重複申請はできません。

2026年度第1学期「科目登録申請要項」：1月中旬発送予定

★「放送授業」・「オンライン授業」・「面接授業」の科目登録ができます。

*2月5日(木)までに届かない場合は 大学本部(TEL: 043-276-5111)に連絡してください。

【科目登録申請期間】 *申請方法により提出期限が異なりますので、ご注意ください。

・「システムWAKABA」による申請期間【インターネット】

2026年2月13日（金）9時～2月28日（土）24時

・「科目登録申請票」による申請期間【郵送】

2026年2月13日（金）～2月27日（金）私書箱必着

次学期に学籍がなく、継続して学習を続けたい方

「出願（継続入学）」手続きを行ってください。

出願（継続入学）には次の方法があります。いずれかの方法で手続きを行ってください。

① インターネットによる方法：申請期間中に手続きを行ってください。

◆ システムWAKABA上で継続入学申請ができます。

(大学本部から案内が送付されます。)

◆ 放送大学ウェブサイトのインターネット出願ページから出願できます。

② 郵送による方法：必要事項を記入し、期間中に大学本部に郵送してください。

◆ 「学生募集要項」に添付されている「出願票」で出願できます。

(学習センター等で配布しています。)

*学期満了者向け送付物（本部より）は「継続入学のご案内」プリントのみです。

募集要項が必要な方は学習センターまでお知らせください。

★①と②の重複申請はできません。

2026年度第1学期「学生募集要項」：11月26日（水）配布開始

★継続入学される方で、面接授業の登録申請を行いたい方は、必ず上記の「科目登録申請期間」内に、システムWAKABAを通して出願する必要があります。

【出願期間】

・インターネットによる申請期間

2025年11月26日（水）9時～2026年3月16日（月）17時まで

・「出願票」等による申請期間【郵送】

2025年11月26日（水）～2026年3月16日（月）私書箱必着

出願票に写真を未添付の場合、学生証の写真是以前提出された写真となります。

写真を変更したい場合は、出願手続きの際に行ってください。後日『写真票』を郵送されたり、後日

システムWAKABAを利用してご自身で差し替えた写真是、次回の学生証更新時に利用されます。

詳しくは和歌山学習センターまでお問い合わせください。



2026年度第1学期 面接授業のご案内

科目登録申請後の追加・変更はできませんので、慎重に科目選択を行ってください。

また、定員を上回る申請があった科目については、抽選による選考を行います。

申請科目すべてが受講できるとは限りませんので、ご注意ください。和歌山学習センターで開設する面接授業科目は下記のとおりです。授業内容等は、「面接授業時間割表[近畿ブロック版]」(大学本部送付)か放送大学ウェブサイトをご覧ください。

科目区分	科目名	担当講師	開設日	定員
基盤	高野山学入門	佐藤 隆彦 外3名	5月30日(土)・31日(日) ★2日間とも伊都郡高野町で実施予定	20
基盤:外国語	ドイツ語の歌で初級文法を	兵頭 俊樹	6月6日(土)・7日(日)	20
導入:人間と文化	国際社会と日本語	長友 文子	5月30日(土)・31日(日)	30
専門:生活と福祉	病と共に生きる	辻 あさみ	4月18日(土)・19日(日)	20
	法定相続と遺言	吉田 雅章	6月13日(土)・14日(日)	30
専門:心理と教育	地域と子育て支援	森下 順子	4月25日(土)・26日(日)	20
	臨床心理学を通した実際の関わり	石橋 玄	5月16日(土)・17日(日)	30
	心理学実験3	則定 百合子	5月30日(土)・31日(日)	20
	心理検査法基礎実習	伴 碧	7月4日(土)・5日(日)	20
専門:社会と産業	醸酵文化論	楠部 真崇	5月9日(土)・10日(日)	30
	スケッチを描き学ぶカードデザイン	原田 利宣	5月23日(土)・24日(日) ★自分用パソコン持ち込み方式(BYOD)で実施	20
	観光のマネジメント	竹林 浩志	6月6日(土)・7日(日)	30
	和歌山(関西)の歴史的建築	高砂 正弘	6月10日(水)・11日(木) ★1日目の一部は和歌山県庁、2日目は綿業会館、大阪俱楽部(大阪市)で実施予定	20
専門:人間と文化	近代の和歌の浦を歩いて・みる	島津 俊之	5月23日(土)・24日(日) ★2日目の一部は和歌の浦周辺で実施予定	20
専門:情報	Pythonで人工知能を体験	吉野 孝	6月20日(土)・21日(日) ★自分用パソコン持ち込み方式(BYOD)で実施	20
	ゲームシステムデザイン入門	中西 英之	6月27日(土)・28日(日)	30
	エンタテインメント情報学	倉本 到	7月11日(土)・12日(日)	30
専門:自然と環境	身近な色の化学	木村 憲喜	4月25日(土)・26日(日)	30

「教科書」指定の有無を前もってシラバス（授業概要）で確認し、各自で書店や出版社から直接購入するなどして、授業当日に必ず持参してください。取り寄せに時間がかかる場合もありますので、ご注意ください。
なお、和歌山学習センターでは「教科書」の販売・貸出はしておりません。

和歌山の時間割

1時限	10:00～11:30
2時限	11:40～13:10
昼休憩	
3時限	14:00～15:30
4時限	15:40～17:10

面接授業とは？

- 全科履修生が卒業するためには、面接授業かオンライン授業の単位を20単位以上修得する必要があります。
卒業を目指している方以外は、必修ではありません。
- 1科目につき1単位です。
- 2日間で計8回の授業(90分×7回、45分×1回)を行い、原則としてレポートか試験等が課されます。

**和歌山学習センター客員教員による
2025年度第2学期学習相談のご案内**

客員教員名	専門分野	実施曜日・時間
満田 成紀 和歌山大学戦略情報室・教授	ソフトウェア工学 ※1	毎週 火曜日 10:00~12:00
則定 百合子 和歌山大学教育学部・教授	臨床心理学 青年心理学	第2・4 火曜日 13:00~15:00
竹林 浩志 和歌山大学観光学部・教授	経営学 組織論	第3 水曜日 10:00~12:00
木村 憲喜 和歌山大学大学院教育学研究科・教授	化学生理 科教育	毎週 水曜日 14:00~16:00
森下 順子 和歌山信愛大学教育学部・教授	発達心理学 保育・幼児教育 子育て支援	第2・4 木曜日 10:00~12:00
尾上 利美 和歌山大学教育学部・准教授	英語教育	第2・4 木曜日 10:00~12:00
原田 利宣 和歌山大学システム工学部・教授	デザイン工学 感性工学 ※1	第1・3 木曜日 10:00~12:00
宗森 純 放送大学和歌山学習センター・所長	情報工学	随時(原則として月・火を除く)

※1 ソフトウェア (Word,Excel,PowerPoint)、インターネット、Windowsなどについての質問も可

学習相談とは?

所長および客員教員が学習上の種々の相談に応じています。

相談を希望する学生は、『学習相談票』(和歌山学習センターウェブサイトに掲載もしくは事務室に備え付け)に必要事項を記入し

相談希望日1週間前までに事務室に申し込んでください。

後日、相談日を通知します。

(*『学習相談票』はFAX送信もしくはメール送信可)

予約制です!



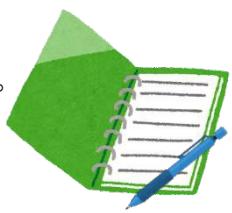
客員教員による『学習会』のご案内

「学習会」とは？

和歌山学習センターの客員教員が、毎回それぞれのテーマに沿って講義をします。

ぜひ、お気軽にご参加ください！

※参加費無料。事前申込み不要。単位認定はありません。



講 師	日 時	講 義 内 容
満田 成紀 専門: ソフトウェア工学	1月13日(火) 2月10日(火)★・24日(火) 3月10日(火)★・24日(火) 10時00分～12時00分	<p>『パソコン・スマートDojo』</p> <p>パソコンやスマートフォンを使っていて、「もっとこんな使い方がしてみたい」と思うことはありませんか？</p> <p>そんなあなたに、ちょっとしたアドバイスや一緒にチャレンジする機会を提供するのが「Dojo(道場)」です。</p> <p>「写真の編集がしたい」「ビデオ通話ってどうやるの？」など、みなさん自身のやってみたいことや悩みについて、教員がメンター(お助け人)となって取り組みます。すぐにはできないかもしれません、ゆっくり少しづつ学んでいきましょう。</p> <p>※自分のノートPCやスマートフォンを持ってきてください。</p> <p>【お知らせ】</p> <p>★の日にはパソコン・スマートフォンの活用に関する1時間程度の講義を行います。</p>
竹林 浩志 専門：経営学 組織論	1月7日(水) 2月4日(水) 10時00分～12時00分	<p>『組織における人間を考える』</p> <p>我々は数多くの組織と様々な形で関わりながら生きています。その組織というものと関わることで多くの喜びを手に入れるだけでなく、多くのコンフリクトをかかえたりもします。</p> <p>では、その「組織」とはそもそもどのようなものなのでしょうか？</p> <p>その中で活動することとはどのようなことなのでしょうか？</p> <p>経営学・組織論・意思決定論などをベースに組織内における人間そのもの、および人間間の諸問題について皆さんと一緒に考えてみたいと思います。</p>

講 師	日 時	講 義 内 容
木村 憲喜 専門：化 学 理科教育	1月28日(水) 14時00分～16時00分	『なぜシャボン玉は虹色に見えるのか、 さまざまな構造色について考える』 シャボン玉やコンパクトディスク(CD)で見られる虹色は構造色と呼ばれ、光の干渉によって生じます。また、この構造色は生き物でも見られ、クジャクやカワセミの羽毛は構造色によって鮮やかな色彩が出現します。このような「構造色」について、身近なものを例に挙げ紹介したいと思います。
	原則として 月1回 水曜日 14時00分～16時00分 ※実施日は月毎に掲示を ご覧になるか、事務室へお 問合せください。	『学生自主ゼミナール』 月に1回のペースで行っています。 報告者は、“和歌山学習センター所属の学生”。各回毎に、担当学生がテーマを決めて発表し、互いに学習を深めます。 事前の申し込みは不要です。是非お気軽にご参加ください！
尾上 利美 専門： 英 語 教 育	2月26日(木) 10時00分～11時30分	『英語でニュースを読む』 英語のニュース記事を読むには、①見出しで使われる独特な文法と②記事がどのように構成されているかを知っておく必要があります。この学習会では、最近の英語ニュースを読むことを通して①と②について実践的に学び、英語の語彙力向上も目指します。

■参加者は放送大学の学生といたします。

■不測の事態発生時には、実施を延期したり取りやめたりする場合があります。

その際には、和歌山学習センターウェブサイトに掲載するとともに、
和歌山学習センター内に掲示いたします。



システムWAKABAでできること ～特に学期後半に便利な機能をご紹介します～

- キャンパスメールを確認したい！ ⇒①
- 単位認定試験の過去の問題・解答を見たい！ ⇒②
- 成績評価の結果は… ⇒③
- 次学期の科目登録・継続入学申請を
システムWAKABAでしたい！ ⇒④



まずは、システムWAKABAにログイン。

★ログインID・パスワードがご不明な場合やログイン方法がわからない場合は大学本部（TEL: 043-276-5111）または和歌山学習センター（TEL: 073-431-0360）へお問い合わせください。

The screenshot shows the homepage of the WAKABA system for Ryukoku University. The top navigation bar includes links for Home, Top Menu, Text Size (Small, Medium, Large), Logout, and Print. The main content area features a sidebar with a graduation owl icon, login information (last login: 2025/10/26 10:58), and links for Color/Profile Settings and Password Change. A red circle highlights the 'Campus Mail' link under 'Campus Life'. The central column contains sections for Information (告知), Campus Life (キャンパスマイル), Class Support (授業サポート), and Academic Affairs (教務情報). A blue circle highlights the 'Past Semester Exam Questions and Answers' link in the Academic Affairs section. The right sidebar lists internal links related to teaching, learning materials, and other academic support. A red circle highlights the 'Campus Mail' link again in the sidebar. Blue circles highlight the 'Past Semester Exam Questions and Answers' link in the central column and the 'Campus Mail' link in the sidebar. Arrows labeled ① through ④ point to the highlighted links, corresponding to the numbered items in the list at the top left.

「学生証」について

「学生生活の栄」[学部]P23~25
[大学院]P34~37

学生証の交付を所属学習センターで行っています。(大学本部からは送付されません。)

学習センターに来所が難しい場合は郵送による学生証の交付も可能です。

詳細は和歌山学習センターウェブサイト「学生証の交付について」をご確認ください。

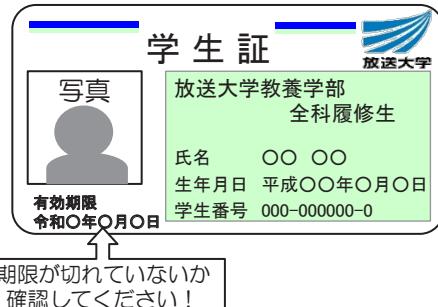
対象者

- ・今学期入学者のうち学生証の受け取りがまだの方
- ・有効期限切れの学生証をお持ちで新しい学生証の受け取りがまだの方

学生証の交付に必要なもの

入学許可書(新規入学者)または期限切れの学生証(在籍者)

【注意】出願・科目登録時に写真票を提出していない方は、①システムWAKABAで直接登録、または②顔写真を大学本部学生課出願登録係に郵送してください。②の場合、学生証の発行に2~3週間かかります。



♥ 学習センター等を利用する場合は、必ず携行してください。

♥ 学生証には有効期限があります。

【学部・大学院とも】

全科履修生：2年間 / 選科履修生：1年間 / 科目履修生：半年間

※更新の際は写真の提出は不要です。

♥ 学生証の紛失や氏名変更した場合の再発行も、学習センターで行います（手数料500円）。学習センター事務室で手続きをしてください。

諸証明書・学割証の発行について

「学生生活の栄」[学部]P101~103, P128~129
[大学院]P102~104, P128~129

諸証明書の発行手続き

各種証明書が必要な場合「諸証明書交付願」を提出してください（発行手数料は1通につき200円）。なお、証明書の発行に2週間程度かかるものや、事務処理上発行できない期間がありますので、必要な方は早めに提出してください。

【来所されない場合】

下記3点を和歌山学習センターまで郵送してください。

①諸証明書交付願（様式：『学生生活の栄』巻末、

もしくは「システムWAKABA（キャンパスライ⇒各種届出・申請様式）」からダウンロード）

②返信用封筒《宛名明記》（証明書1~2通：長形3号、3通以上：角型2号）

③返信用切手（証明書1~2通：110円、3通以上：180円）

↓

上記書類到着後、手数料のお支払いにつきまして、和歌山学習センターより連絡いたします。

学割証の発行手続き

全科履修生・修士全科生・博士全科生が、面接授業や単位認定試験、卒業研究、研究指導等のために通学する場合等に発行します。

和歌山学習センターでは、JRと和歌山電鐵のみ適用でき、

『一般普通回数乗車券（JR・和歌山電鐵）』および

『学生割引普通乗車券（片道区間100km以上・JRのみ）』（2割引）を購入できます。

学割証が必要な方は、事務室備え付けの「学割証発行願」を提出してください。

【来所されない場合】

下記2点を和歌山学習センターまで郵送してください。《使用日の10日前までに必着！》

①学割証発行願（システムWAKABA（キャンパスライ⇒各種届出・申請様式）からダウンロード）

②返信用封筒（長形3号に110円切手貼付・宛名明記）

※ 卒業研究、研究指導およびゼミ出席の場合は、指導教員から指示のあったことを示すもの（日時や場所がわかる指導教員からのメールの写しなど）も同封（持参）してください。



連携公開講座を開催しました



昨年に引き続き、和歌山県立図書館との連携公開講座を11月、12月の2回にわたり開催しました。

第12回目の連携公開講座のテーマは『QOL（生活の質）を向上するデザイン技術とその実践』。

11月の講座「2025年問題を超えて～福祉用具と共に用品が支える新しい社会の形～」では、QOLを向上するデザイン技術を用いた福祉用具や共用品が高齢者や障害者の自立支援に果たす役割を学び、社会参加や人権の視点から、福祉の未来に向けた解決策について考えました。

12月の講座「美しさの秘密を解く～日本刀から外科手術までの曲線の力～」では、自然造形物や日本刀、カーデザインといった工芸品や工業製品における曲線の「美しさ」とその機能について学び、その曲線を形成外科手術へ応用して患者のQOLを高めた実践例などを知ることができました。

また、和歌山県立図書館内に関連テーマの書籍を集めた特別コーナーも設置していただきました。来年度もテーマを変えて開催予定ですので、多数のご参加をお待ちしています。



きのくに作品展を開催しました



毎年、ご好評をいただいている「きのくに作品展」を今年度も、10月30日（木）～11月13日（木）の2週間、ロビーにおいて開催しました。

陶芸、カービング、布絵本、クロスステッチや、俳句会の作品などを出品していただき、来館された方々に楽しんでいただくことができました。

来年度も開催したいと考えていますので、皆さまのご参加をお待ちしています。



学生研修旅行に行ってきました



昨年に引き続き、11月18日（火）に和歌山学習センター学生研修旅行を行いました。

今年は阪神淡路大震災から30年の節目の年にあたり、「復興と防災を学ぶ」をテーマに、和歌山大学の木村教授をお迎えして、神戸市中央区の「人と防災未来センター」を見学し、震災で全ての木造蔵が潰れながらも復興を果たした「神戸酒心館」で昼食をいただき、酒蔵見学を行いました。

来年度も実施予定ですので、皆さまのご参加をお待ちしています。



和歌山学習センターの利用について

◆センターの利用について

開 所 日	火曜日～日曜日
閉 所 日	月曜日・祝休日・12/28～1/5
開 所 時 間	10時～18時(電話対応も同じ)

- センターの利用は放送大学の学生といたします。(所長の許可を得た者を除く。)
- 入館の際は「放送大学和歌山学習センター利用申込書」に記入し提出ボックスに入れてください。

警報発表時等の臨時閉所について(和歌山学習センターの取り扱い)

和歌山学習センターでは、以下の基準により臨時閉所します。

- 和歌山市に暴風警報、大雪警報、大雨特別警報のいずれかが発表された場合
- 被災により、学習センター業務が正常に運営できない場合
- その他、学生および教職員の危険回避のため、所長判断による臨時閉所を決定した場合

※大雨警報発表による臨時閉所は行いません。

※面接授業および単位認定試験は、取り扱いが異なります。

※閉所する場合や再開所する場合はその都度、和歌山学習センターのウェブサイトやX(旧Twitter)で情報発信しますので、ご確認ください。

警報解除の時刻	閉所の措置	備 考
午前7時まで	平常どおり閉所します。	図書・視聴学習室、 学生控室も同様です。
正午まで	解除より2時間後に閉所します。	
正午以後	終日閉所します。	



年末年始閉所のお知らせ



12月28日(日)～1月5日(月)の期間は年末年始のため閉所します。

ご不便をおかけしますがご理解のほど、よろしくお願ひいたします。



駐車場の確保について



和歌山学習センターは駐車スペースが少なく、周辺にもコインパーキングがないため、駐車できる台数が限られています。

歩行困難な方で、面接授業等の際に駐車場の確保が必要な方は、和歌山学習センターまで申し出てください。(証明となるものをご提出いただく場合があります。)

1月～3月の和歌山学習センタースケジュール



1月

1	木	閉所日（元日）
2	金	閉所日（年末年始）
3	土	閉所日（年末年始）
4	日	閉所日（年末年始）
5	月	閉所日
6	火	
7	水	学習会：竹林先生
8	木	
9	金	
10	土	面接授業 「心理学実験2」 「ジオパークで考える変動帯地域」
11	日	
12	月	閉所日（成人の日）
13	火	学習会：満田先生
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	
18	日	単位認定試験期間
19	月	閉所日
20	火	
21	水	
22	木	単位認定試験 記述式・併用式科目 17時まで 郵送試験 必着
23	金	
24	土	
25	日	
26	月	閉所日 単位認定試験 択一式科目 17時まで
27	火	
28	水	学習会：木村先生
29	木	
30	金	
31	土	

2月

1	日	
2	月	閉所日
3	火	
4	水	学習会：竹林先生
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	閉所日
10	火	学習会：満田先生
11	水	閉所日（建国記念の日）
12	木	
13	金	2026年度第1学期科目登録申請受付開始
14	土	
15	日	
16	月	閉所日
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	
22	日	
23	月	閉所日（天皇誕生日）
24	火	学習会：満田先生
25	水	
26	木	学習会：尾上先生
27	金	2026年度第1学期科目登録郵送申請受付締切（必着） 2026年度第1学期第1回出願受付締切（郵送は必着/Webは24:00まで） (学部・修士選科・修士科目)
28	土	2026年度第1学期科目登録Web申請受付締切（24時まで） 2026年度第1学期第2回出願受付開始（学部・修士選科・修士科目） -3月16日まで-

3月

1	日	
2	月	閉所日
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	閉所日
10	火	学習会：満田先生
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	閉所日 2026年度第1学期第2回出願受付締切（郵送は必着/Webは17:00まで） (学部・修士選科・修士科目)
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	閉所日（春分の日）
21	土	
22	日	
23	月	閉所日
24	火	学習会：満田先生
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	2025年度第2学期学位記授与式 2026年度第1学期入学者の集い
30	月	閉所日
31	火	

スケジュール等は予定で作成していますので、直前に送付される案内、冊子等で必ず日時を確認してください。

放送大学 和歌山学習センター

〒641-0051

和歌山県和歌山市西高松1丁目7-20(和歌山大学松下会館内)

Tel. 073-431-0360 Fax. 073-431-0311

E-mail wakayama-sc@ouj.ac.jp

ウェブサイト <https://www.sc.ouj.ac.jp/center/wakayama/>

X(旧Twitter) https://x.com/wakayama_sc

**※ 和歌山大学（栄谷キャンパス）とは別の場所
ですので、ご注意ください。**

